

スライド1

日本公庫シンポジウム

**日本経済の課題
～人手・人材不足と働き方改革～**

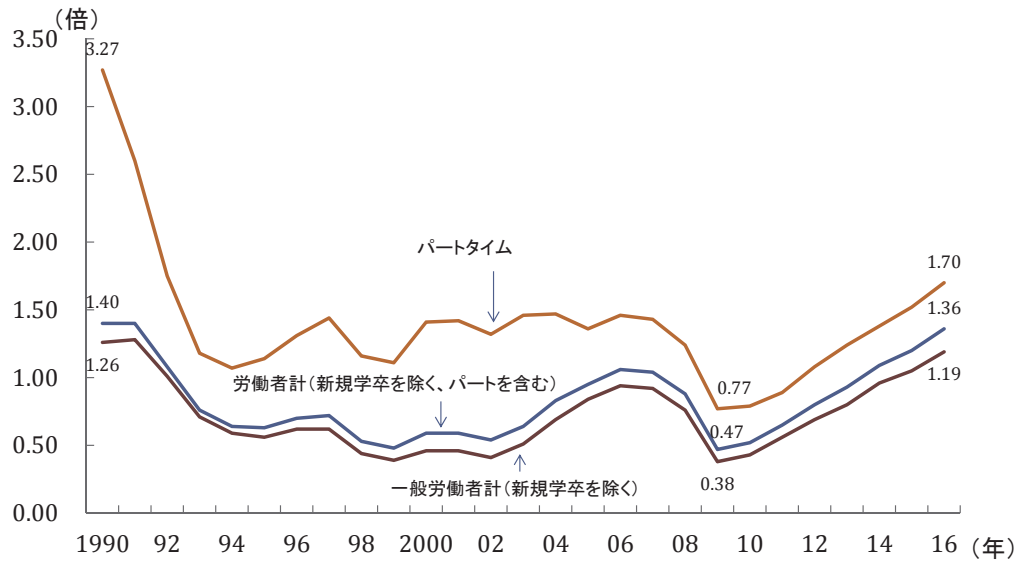
2017年11月30日
慶應義塾大学商学部 教授 樋口美雄

スライド2

I 深刻化する人手・人材不足

スライド3

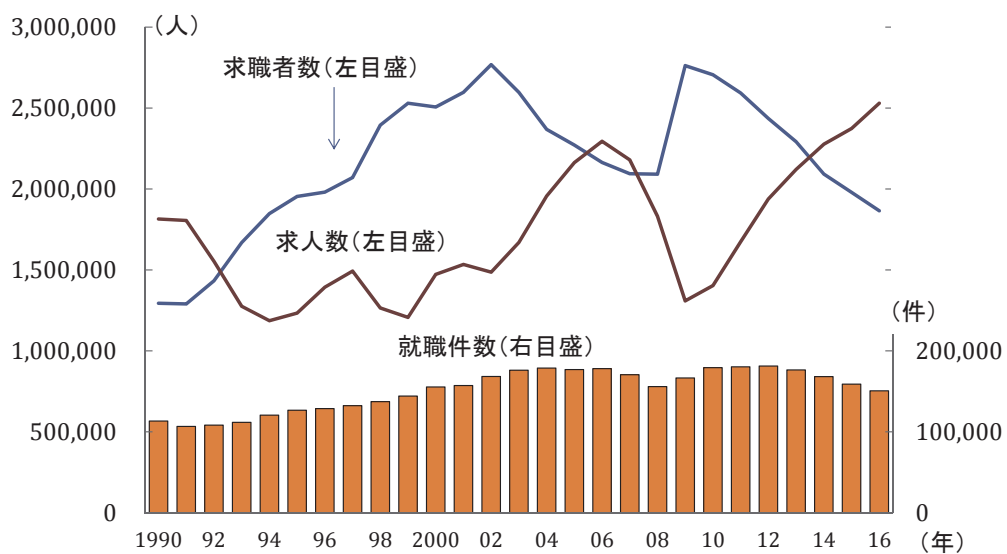
1 有効求人倍率の推移



資料:厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

スライド4

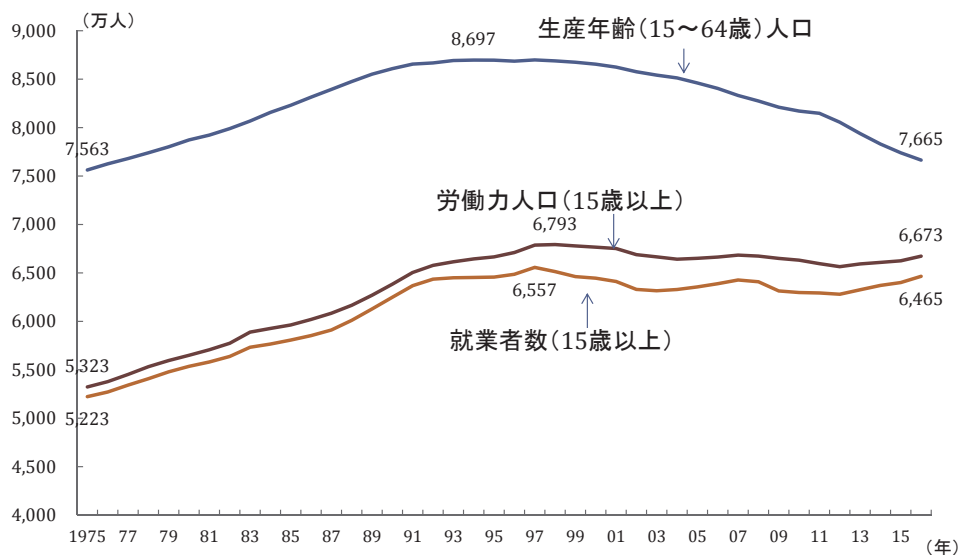
2 求人数・求職者数・就職件数の推移



資料:厚生労働省「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」

スライド5

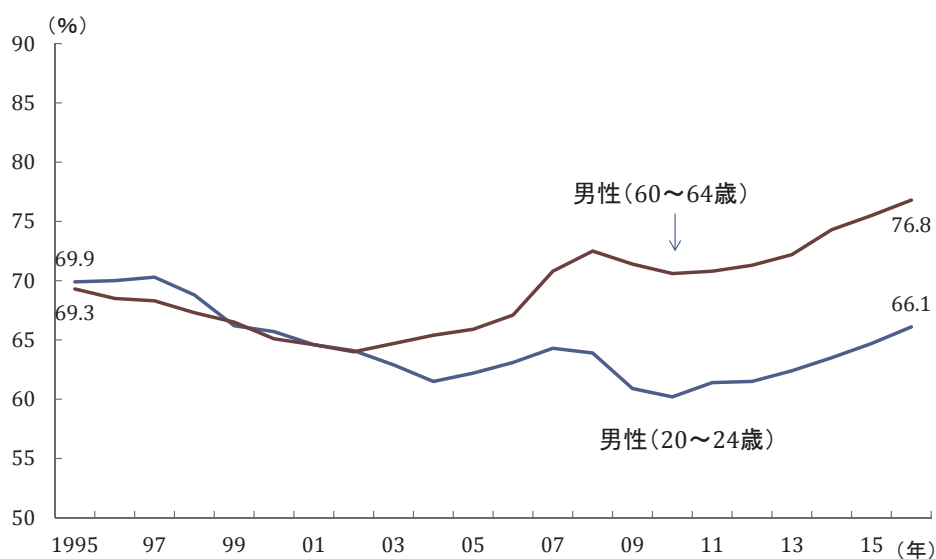
3 生産年齢人口、労働力人口、 就業者数の推移



資料:総務省統計局「労働力調査」

スライド6

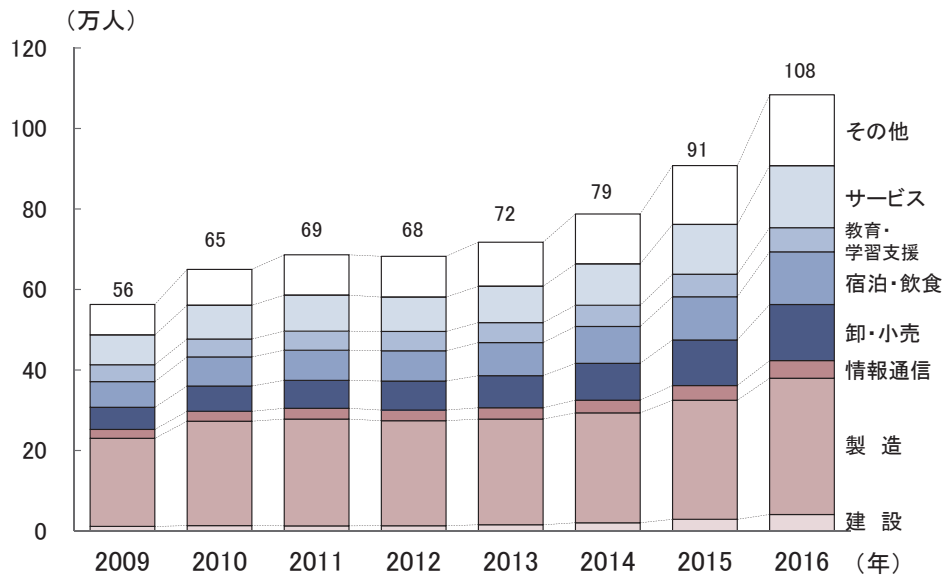
4 就業率の推移



資料:総務省統計局「労働力調査」

スライド7

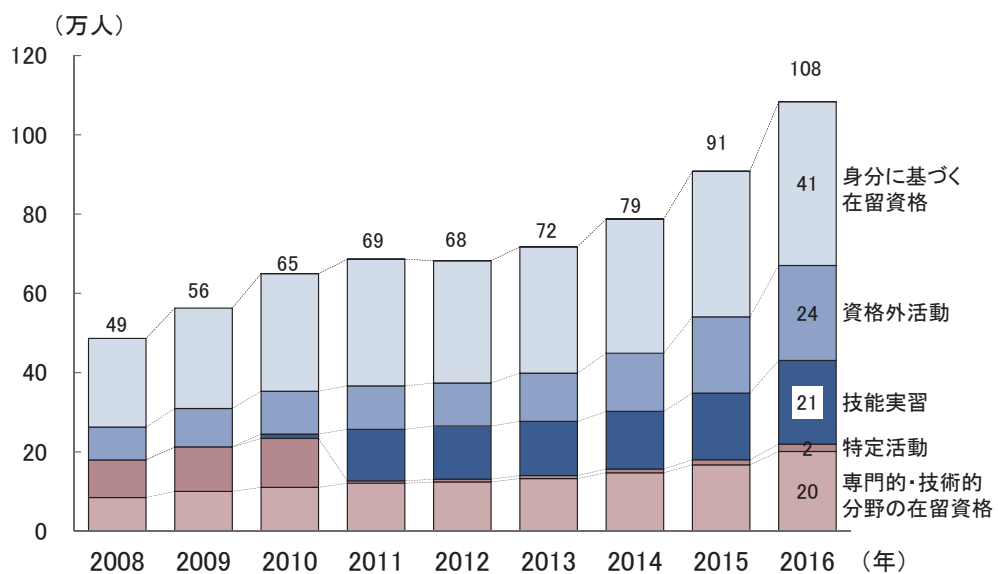
5 増加する外国人労働者



資料: 厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況まとめ」
(注) 各年とも10月末の数値。

スライド8

6 在留資格別外国人労働者数の推移



資料: 厚生労働省「外国人雇用状況の届出状況まとめ」
(注) 各年とも10月末の数値。

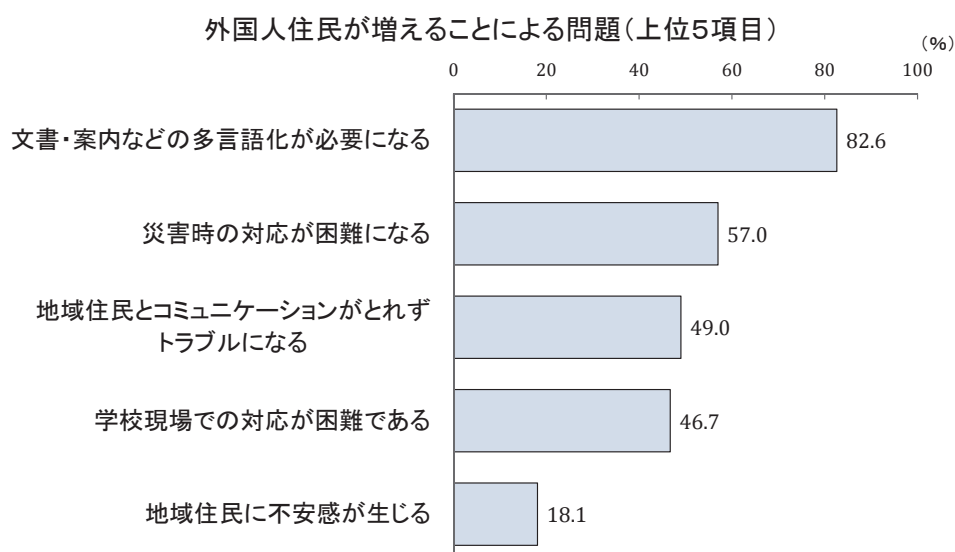
スライド9

7 最近の外国人雇用政策

- 高度専門人材への永住許可要件の特例(2017年4月)
在留期間の要件を1年に短縮
- 在留資格「介護」の創設(2017年9月施行)
- 技能実習法(2017年11月施行)
管理・監督体制の強化
技能実習3号の創設(最長5年まで雇用可能)
- 国家戦略特区の活用
家事支援人材、創業人材、クールジャパン人材

スライド10

8 外国人材受け入れに伴う問題



資料:三菱UFJリサーチ&コンサルティング「基礎自治体の外国人政策に関するアンケート調査」(2013年)
注:外国人人口が50人以上の基礎自治体を対象するもので1,246団体のうち535団体が回答した。

スライド11

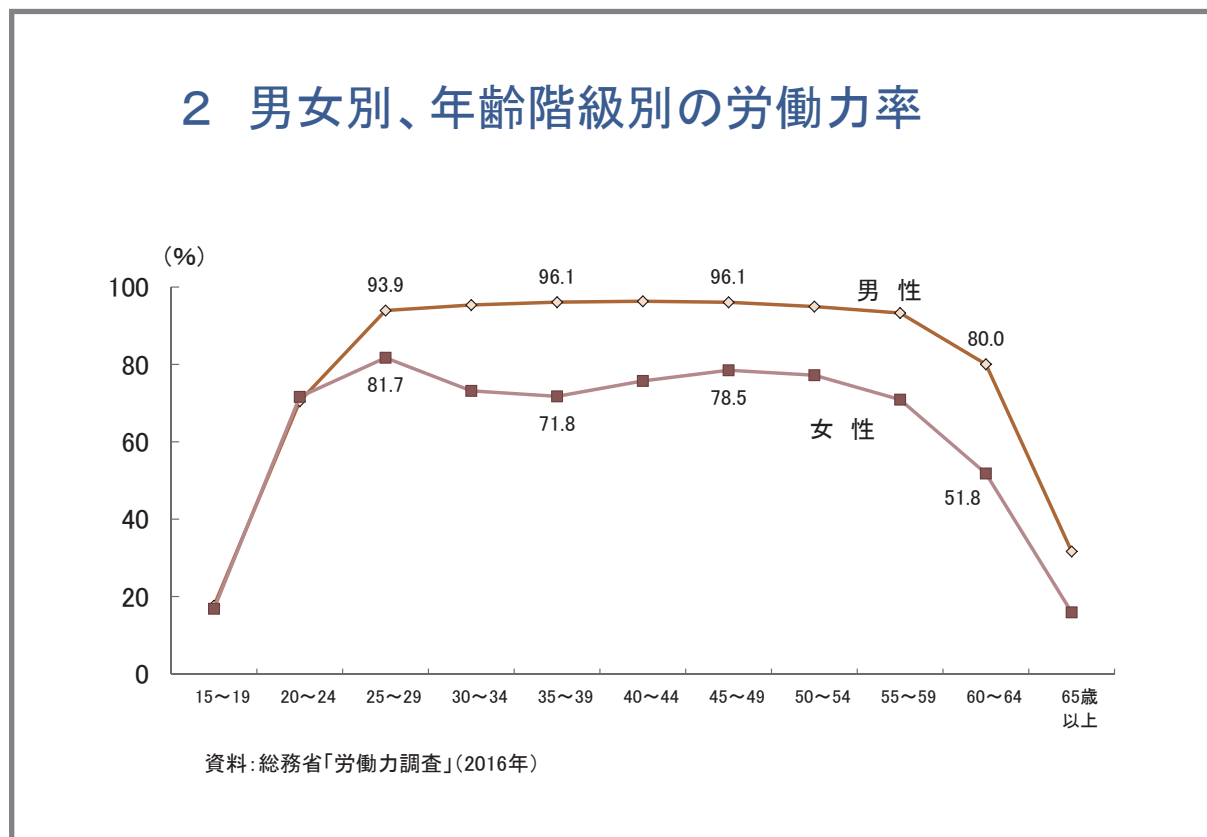
Ⅱ 人手・人材不足にどう対応していくか

スライド12

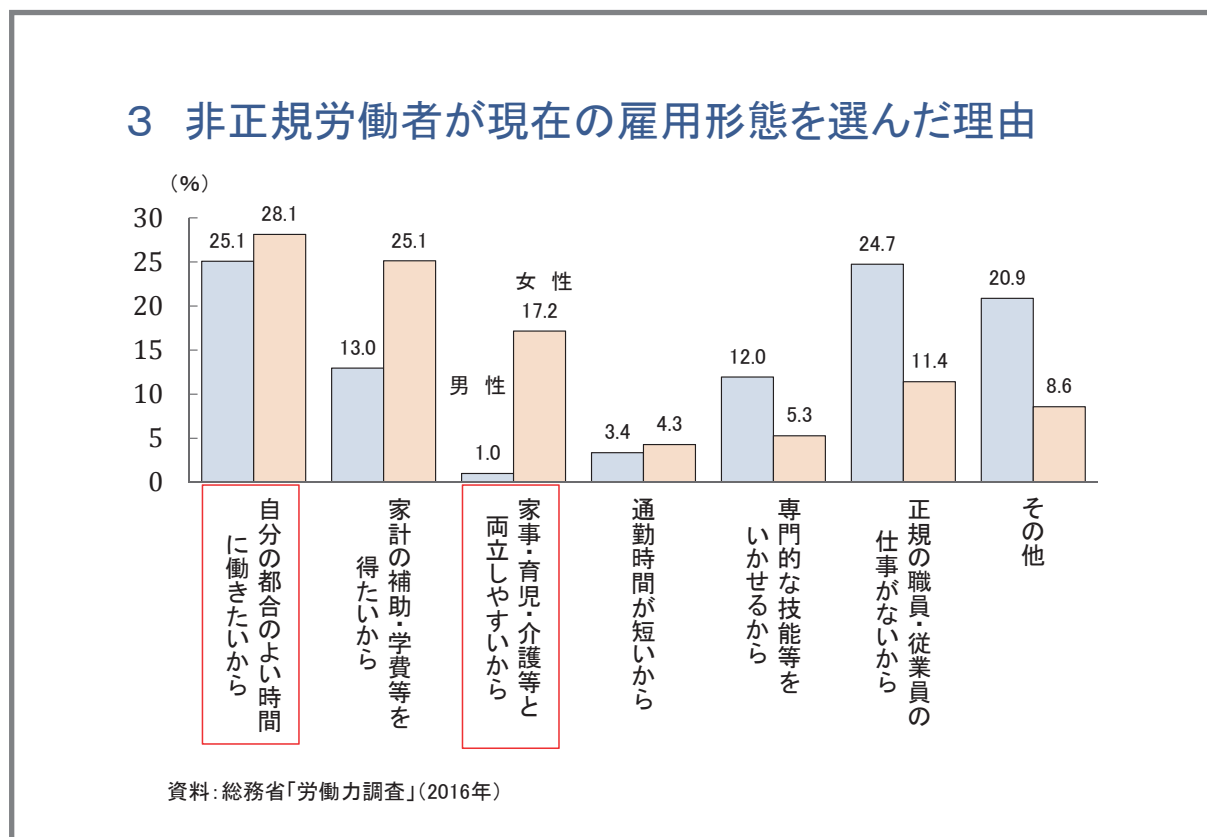
1 多様な人材の活用

- 人手不足を解決していくには、多様な人材の活用が欠かせない。
⇒女性、障がい者、高齢者、外国人など
- 多様な人材が活躍できるようにするには、意欲や能力の発揮を妨げる「壁」を取り払う必要がある。
⇒長時間労働、非合理的な待遇格差、育児・介護、障がい・病気・加齢によるハンデ、単線型のキャリアパスなど

スライド13



スライド14



スライド15

Ⅲ 働き方改革

スライド16

1 「働き方改革」の概要

- 非正規雇用の処遇改善
- 賃金引き上げ、生産性向上
- 長時間労働の是正
- 柔軟な働き方の実現
- 女性、若者の就業支援
- 病気の治療、子育て、介護との両立
- 障がい者、高齢者の就労支援
- 転職、再就職支援
- 教育環境の整備
- 外国人材の受け入れ

スライド17

2 中小企業における働き方改革の例①

兵庫県のデータ・エントリー会社

- ① 近くにある大手SE会社がたくさんの人材を育成
- ② 女性社員の多くが出産を機に離職
- ③ 自由時間出勤制度の導入
- ④ 人材活用により、プログラミング会社
日本全国から受注

スライド18

3 中小企業における働き方改革の例②

岐阜県の電機メーカー

- ① 高価な機械の稼働率が低い
- ② 高齢者雇用の促進
「土日はわたらのウィークデー」
- ③ 優秀な人材が応募
- ④ 生産性の向上・利益率の上昇
- ⑤ 若い人の規律向上

スライド19

4 働き方改革＝重要な経営戦略

